

専念寺通信

三月号 (NO. 115)

<http://sennenji.s296.xrea.com/>



寒かったり、暖かだったり、地震が起きたり、その影響でこの国にまで津波が来たり、天候の不順な春の始まりです。みなさま、おかわりなくお過ごしでいらっしやいますか。

☆春の彼岸

3月18日からの一週間が今年の春のお彼岸です。お中日は21日、この日をさかいに昼が長くなり、夜は短くなっていきます。2月の終わりに、専念寺の枝垂れ梅と、墓地の白梅が、きれいに咲きました。お彼岸が近づくと、私共の寺では春には梅が、秋には彼岸花が、季節を知らせてくれます。お彼岸の『通信』では毎年「六波羅蜜」についてお話しさせていただいております。

☆六波羅蜜

1. 布施 (ふせ) 与えること。
2. 持戒 (じかい) 戒律を守ること。
3. 忍辱 (にんにく) 苦難に耐えしのぶこと。
4. 精進 (しょうじん) 真実の道をたゆまず実践すること。
5. 禅定 (ぜんじょう) 心を統一し安定させること。

6. 智慧 (ちえ) 真実の智慧を得ること。



毎年、お彼岸の号になると皆さまにお話ししていることですが、たとえば布施は、与えるものは物でなくても良いのです。気持ちや笑顔でも充分なのです。戒律は法然上人の生きた時代に比べればこの21世紀は、とてもとても少ないといっただいでしょう。けれど、法律に違反していなくとも自分の中で何かのルールを作りませんか？誰にも話さなくてよいので、いくつか作って、それを守ってみましょう。真実の道は、学校では

教えてくれません。誰も教えてくれません。それぞれが生まれたときにもらったこの頭で考えるしかありません。たとえば、ある経験を積んだ人の話に耳を傾けるのもよいでしょう。年長者の話を尊重するというのは、やはり意味のあることです。ゆっくりと気持ちを整えて、こころ静かに春を迎えたいものです。

小さなお知らせ：みなさまがお墓参りや施餓鬼会などの折りに忘れていった品物を、専念寺で保管させていただいておりますが、それらの忘れ物がだいぶたまってきました。傘やめがね、数珠、ハンカチなど、これらの品を、お彼岸の期間、書院前に机をだし、その上にお出ししておきます。心あたりのある方はどうぞご覧になってください。見つからなかった愛用品と再会できるかもしれません。

お彼岸を境に季節は春へ、そして夏へとむかっています。寒暖の差のある時期です。どうぞみなさまお身体をたいせつにお過ごしください。お彼岸の日々に大玄関で皆さまにお目にかかれますのを、私共も気持ちを整えてお待ち申しあげております。

平成22年3月1日 大黒